

2024年度  
第2回 理事会議事録

2024年 6月 14日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

# 2024年度 第2回理事会議事録

1. 日 時 2024年 6月 14日 (金) 11:30～13:00
2. 場 所 鉄鋼会館 802号室
3. 構 成 員 14名
4. 出席構成員 13名 (別紙 出席者名簿参照)
5. 議 事 次 第
  - (1) 開会の辞
  - (2) 定足数確認報告 (定款第36条)
  - (3) 会長挨拶
  - (4) 前回理事会議事録の確認
  - (5) 審議事項  
第1号議案 第57回通常総会 議案書確認の件
  - (6) 報告事項
    - 1) 本日のスケジュール及び総会等の運営要領確認の件
    - 2) 委員会等活動状況報告
      - ①運営委員会 (物流問題<ポスター、条件書>資料確認)
    - 3) その他
  - (7) その他の定例報告事項
    - 1) 構成員登録状況
    - 2) 着工面積と推計鉄骨需要量
    - 3) 2024年度主要会議日程
    - 4) 支部報告
  - (8) 閉会の辞

## 6. 議事要旨

### (1) 開会の辞

進行役の小貫専務理事より開会する旨が告げられた。

### (2) 定足数確認報告

小貫専務理事より、本理事会は大島理事が欠席し 13 名の理事が出席されており、定款第 36 条（理事会の定足数）に基づく成立要件となる定足数が満たされていること、また、監事も 2 名全員に出席いただいていることが報告された。

### (3) 会長挨拶

永井会長より「本日は総会が開催されますので、よろしくお祈いします。理事の皆様にはこの 2 年間、協会の事業活動にご協力をいただき、本当にありがとうございました。本日の総会をもって理事会のメンバーも変わりますが、引続きよろしくお祈いします。」との挨拶があった。

### (4) 前回理事会議事録の確認

小貫専務理事が、2024 年度第 1 回理事会の要点を読み上げ、確認、了承された。

### (5) 審議事項

#### 第 1 号議案：第 57 回通常総会 議案書確認の件

第 57 回通常総会の議案書に関し、第 1 回理事会(5 月 21 日開催)で説明し了承された内容から変更がないことが小貫専務理事より説明され、本議案書にしたがって総会を進めることが確認された。

本案に対する意見、質問等はなく、原案通り承認された。

### (6) 報告事項

#### 1) 本日のスケジュール及び総会等の運営要領確認の件

本日のスケジュール及び総会等の運営要領について、議案書[理 24-2-報 1]<p4-8>にそって説明され、確認が行われた。

#### 2) 委員会等活動状況報告

##### ①運営委員会（物流問題<ポスター、条件書>資料確認）

物流問題に関する、チラシ、ポスター、条件書について、議案書（p9-12）にそって、下記内容が説明され、確認された。

- ・チラシ、ポスターについては、前回理事会（5 月 21 日）での指摘を踏まえ、作成した。今後の予定としては、7 月の 1 週から 2 週のあたりで、完成したものを、都道府県の組合と各構成員に配布・発信予定。

また、チラシ、ポスターの内容を地方建設専門紙に掲載する件についても、議案書（p11）のデザインを前提に、7 月第 1 週の 3 日間に渡って、全国 33 紙に載せる方向で進めている。

- ・輸送に関する条件書については、参考資料という記載を追加するとともに、金額は「参考金額」という表記に変更、金額情報の補足については、「距離制運賃表を元に作成」という表現にした。本条件書についても、チラシ、ポスターの発信、新聞広告の掲載の日程に合わせ、各都道府県組合等へ発信予定。

### 3) その他

#### ①中国支部、四国支部、九州支部 3支部合同要望書について

3支部合同要望書について、議案書(p13-15)にそって、岩永理事 九州支部長、妹尾理事 中国支部長から、下記内容が説明された。

＜JSCA等構造技術者との意見交換会の開催＞

各地域ではJSCA地区会等との意見交換は行われているが、「図面問題」等、大きな問題への対応については、十分に機能していない実態がある。今後の様々な技術的問題への取組みに向けて、全構協中心に産・学の意見交換会の開催を検討していただきたい。

＜「鉄骨製作管理技術者」の問題及び教本への漢字ルビ対応＞

- ・本課題については2021年に九州支部より要望し、鉄骨技術者教育センターから見合わせとの回答をえたが、環境の変化等もあり、今回あらためて3支部合同の要望として提出するもの。
- ・本要望の背景として、「事業を行っていく上で外国人人材への依存度が高まっていること」、「特定技能の対応を踏まえた必要資格となる可能性」等の環境の変化がある。その様な状況を考慮し、外国人人材に対して、より門戸を開き、選ばれる業界になるべきではないか。
- ・また、「育成就労」に関係する法律が成立したことも踏まえ、スピード感を持って検討を進める必要がある。

本3支部合同の要望については、7月からの次期理事会メンバーにて継続検討することとした。

#### ②青年部向け助成金について

青年部向け助成金については、総会後の来週以降に申請受付を開始する旨報告があった。

#### ③「人づくり研修」募集開始について

「人づくり研修」については、7月9日の理事会後、7月11日以降に受講生の募集を開始する旨報告があった。

### (7) その他の定例報告事項

#### 1) 構成員登録状況

本日時点の構成員数は、前回報告時(5月21日)より1社増加し、2,152社であること等が、議案書(p17-21)により報告された。

## 2) 着工面積と推計鉄骨需要量

2024年度4月の推定鉄骨需要量は、38.8万トン、前年比97.1%となった。

## 3) 2024年度主要会議日程

主要会議日程が、議案書(p23)により報告された。

8月27日(火)12時から臨時の理事会が開催されることが確認された。

## 4) 支部報告

### 〔北海道〕

- ・稼働率はこの時期としてはやや低め、見積り物件も少ない地区が増加。
- ・大型案件を道外のファブが安値で取っている関係で、加工賃は下落傾向。

### 〔東北〕

- ・各県見積り物件は少なく、状態は良くない、我慢の時期。
- ・数量の把握について方法を見直し、精度を上げる必要があるのでは。

### 〔関東〕

- ・手持ち工事量、稼働率ともに、地区、グレード等によりバラツキが大きい。
- ・相変わらず物価高騰分の転嫁は厳しい。
- ・大型案件の納期ずれや、公共物件の不調が発生する中で、一部に価格値下げが行われており、少ない案件の取り合いで価格競争になっている。

### 〔北陸〕

- ・手持ち工事量は少なく、稼働率も低い傾向が続いている。数字以上に、バラツキが大きく、特にR・Jグレードは厳しい状況がある。
- ・行政関係や設計事務所と話していると、鉄骨業界の繁忙感の認識にずれが感じられる。関係先との情報交流を通じて、需給環境等について、正しく認識してもらう必要がある。

### 〔中部〕

- ・手持ち工事量、稼働率等の状況は各地区でバラツキがある。
- ・少ない案件の取り合いで競争になり、経営が圧迫される懸念がある。

### 〔近畿〕

- ・受注物件、稼働率等大きな変化はないが、見積り物件は少ない状態が継続
- ・報告内容について、今後の見通しを充実させる方向で検討している。

### 〔中国〕

- ・山陽地区においては、Hグレードは概ね仕事を確保しているが、M以下はローカル中心で厳しい。山陰地方は比較的競合も少なく概ね安定している。
- ・図面問題の陳情活動については各県進展しており、一部遅れている地域を含め7月末完了見込み。図面問題の活動を通して、官公庁との関係構築が出来た県もある。

〔四国〕

- ・工事量、稼働率、見積り物件ともに大きな変化はなく厳しい状況が継続。
- ・工期のずれが頻発しており、工事量の管理、価格の維持が難しい。

〔九州〕

- ・仕事量については全体としてはやや陰りも見えるが、少なくとも大手と繋がっている会社は仕事を確保している。M以下も仕事量は多くはないが、価格は落ち着いている。

永井会長からは、今後の価格動向、工期ずれの問題等に注意する必要があるとの意見があった。

(8) 閉会の辞

以上をもって、審議事項、報告事項等、予定された事項が終了したので、議長は閉会を宣し散会した。

以 上

(別 紙)

## 出席者名簿

会 長	永 井	毅
副 会 長	大 竹	良 明
専務理事	小 貫	武
理 事	佐 藤	正 記
〃	三 浦	隆 宏
〃	秋 山	順 一
〃	寺 田	健 信
〃	柏 原	正 明
〃	出 雲	津 芳
〃	妹 尾	一 人
〃	登 尾	昌 弘
〃	岩 永	洋 尚
理 事(相談役)	米 森	昭 夫
監 事	村 上	眞 樹
〃	五 月 女	久 和

理事総数 14名 うち出席者 13名 [ 欠席：大島副会長 ]  
監事総数 2名 うち出席者 2名